

6-8 建築学科

Department of Architecture

建築学部 建築学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、建築学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士(工学)の学位を授与する。
(各記号の説明はWEBに記載・各記号は科目のシラバス内「学科教育目標」として記載しています)

基礎教育部：A～H

A 自己啓発・自己管理能力 B 多様な価値観の理解と倫理的判断能力 C 外国語コミュニケーション能力 D 現象のモデル化と分析能力、論理的思考能力
E 図表を用いたコミュニケーション能力 F 基礎的な実験能力 G 問題発見・問題解決能力 H コンピュータリテラシー

専門教育課程：I～R

I キャリアデザイン能力 J 建築エンジニアリングの基礎となる建築学全般の基礎的能力 K 建築図面・文章等の基礎的表現能力 L 建築設計・計画に関わる基礎的能力
M 都市デザイン・まちづくりに関わる基礎的能力 N 建築生産に関わる能力 O 建築・都市の環境・設備・GXに関わる能力 P 建築構造に関わる能力
Q 建築エンジニアリングのDXに関わる能力 R 分析・考察・提案能力

教育目標

建築のエンジニアリング分野において、建築や都市の安全性や快適性の観点から、建築・都市の計画・実現能力を習得させることを目的とする。具体的には、建築・都市の環境設備計画、構造計画及びその生産・維持管理ができる専門知識・技術を身につけた人材を主として養成する。さらには、急激な気候変動や多発する自然災害、ウェルビーイングなどに対応した次世代の建築エンジニアリングに関する知識・技術を修得し、持続可能な社会と環境を構築し運営できる人材を育成する。

課程区分	科目区分	科目群	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		卒業に必要な最低単位数		
			1期 前学期	2期 後学期	3期 前学期	4期 後学期	5期 前学期	6期 後学期	7期 前学期	8期 後学期	必修	選択	文理横断 専門探究
修学基礎教育課程	修学基礎	修学基礎	▶ 修学基礎 A ②	▶ 修学基礎 B ②							4	—	—
	人間形成基礎科目	人間形成基礎	▶ 実践ウェルビーイング ①		※1 ▶ 技術者と持続可能社会 ② ▶ 日本学(日本と日本人) A ① ▶ 日本学(日本と日本人) B ①	※1	▶ 科学技術者倫理 ②	※1			7	—	—
		生涯スポーツ	▶ 健康・体力づくり ①	▶ 生涯スポーツ演習 ①							2	—	—
		人間と自然	▶ 人間と自然								合格が卒業要件	—	—
英語教育課程	英語科目	英 語	□ イングリッシュベーシックス ② □ イングリッシュピックス 1 ② □ イングリッシュピックス 3 ② □ イングリッシュピックス 5 ②	□ イングリッシュピックス 2 ② □ イングリッシュピックス 4 ② □ ビジネスコミュニケーション ② □ アカデミックリーディング 1 ② □ ライティングベーシックス ② □ S T E Mイングリッシュ ② ※1 □ T O E I C 初級 ② □ T O E I C 中級 ② □ インテンシブイングリッシュ ②	□ イングリッシュピックス 3 ② □ イングリッシュピックス 5 ② □ アカデミックリーディング 2 ② □ アカデミックプレゼンテーション ② □ イングリッシュセミナー ②	□ イングリッシュピックス 4 ② □ ビジネスコミュニケーション ② □ アカデミックリーディング 1 ② □ ライティングベーシックス ② □ S T E Mイングリッシュ ② ※1				—	8	※3	
数理・D S・A I 教育課程	数理基礎科目	数理基礎	▶ 技術者のための数理 I ② ▶ 技術者のための数理 II ②	▶ 線形代数学 ② ▶ A I 基礎 ① ▶ データサイエンス基礎 I ① □ データサイエンス物理 ② □ アドバンスト数理 A ②	▶ データサイエンス基礎 II ① □ アドバンスト数理 B ② □ 技術者のための統計 ② □ 技術者のための数理 III ②						9	2	※1
P D 基礎教育課程	基礎プロジェクト科目	基礎プロジェクト	▶ プロジェクトデザイン入門(実験) ② ▶ ICT入門 ① ▶ データサイエンス入門 ①	▶ プロジェクトデザイン I ②	▶ プロジェクトデザイン II ②	▶ プロジェクトデザイン実践(実験) ②					10	—	—
		一部科目の記載はp.091参照											
専門教育課程	専門科目		▶ 建築基礎製図 ② ▶ 建築環境学 I ② ▶ 建築構造のしくみ ② ▶ 建築の計画とデザイン ②	▶ 建築構造力学 I ② ▶ 日本建築史 ② ■ 建築設備総論 ② □ 建築設計基礎 ②	▶ 建築設計演習 I ④ ▶ 建築構造力学 II ② ▶ 建築環境学 II ② ▶ 建築構法計画 ② ▶ 西洋建築史 ② ▶ 建築キャリアデザイン ①	▶ 建築設計演習 II ④ ▶ 建築構造計画 ② ▶ 建築設備学 ② ▶ 建築材料 ② ▶ 建築エンジニアリング情報演習 I ② ▶ 建築計画 ②	▶ 建築総合演習 A ③ ▶ 建築施工 ② ■ 鉄筋コンクリート構造 ② ■ 鉄骨構造 ② ■ 建築環境学 III ② ■ 建築環境設計 I ② ■ 建築エンジニアリング情報演習 II ② □ 建築デザイン論 ② □ 都市デザイン ②	▶ 建築総合演習 B ③ ▶ 建築法規 ② ■ 建築構造設計 ② ■ 建築安全工学 ② ■ 建築環境設計 II ② ■ サステナブル都市・建築 ② □ 建築再生論 ② □ 都市・まちづくり ②			60	※3	
		専門プロジェクト科目						▶ イノベーション基礎 ① ▶ 専門ゼミ ①	▶ プロジェクトデザイン III ⑧		10	—	
	全課程から提供	リベラルアーツ系科目	その他			□ 進路セミナー I ①	□ 進路セミナー II ①		※1			—	—
全課程から提供											—	12	※2

詳細は次ページへ

▶ 必修科目 ■ 選択必修(5科目を選択して必修とする) □ 選択科目

○付数字は単位数を表す。
※1：ゾーンの科目は学科によって開講学期が異なるので注意すること。
※2：「リベラルアーツ系科目」の12単位については、科目群「文理横断」と「専門探究」から合計12単位を修得すること。
※3：「専門探究」の単位数は、科目群「英語」「数理基礎」「専門」より卒業に必要な最低単位数を超えた単位数とする。

合計

124

詳細は次ページへ

キーワード

建築構造

伝統木造

建築構法・材料

建築環境・設備

建築・都市環境デザイン

建築環境心理

学ぶ領域

①建築構造

安全で安心な建築を実現するために、建築に作用する力と建築構造に生じる力を理解し、設計実務に応用できる能力を涵養する。

②伝統木造

伝統木造建築の構法や構造特性を理解し、長期保全に向けて文化的価値と耐震性能を両立するための技術と手法を学ぶ。

③建築構法・材料

建築構法や建築材料の特性と応用技術を系統的に理解し、安全性、機能性を備えた持続可能な建築物を実現する手法を学ぶ。

④建築環境・設備

建築環境や設備に関する知識と技術を学び、省エネルギーや快適性、環境負荷低減を重視した持続可能な建築づくりを追求する。

⑤建築・都市環境デザイン

建築や都市の環境面からの設計・評価手法を理解し、自然環境や景観、持続可能性、GXを考慮した都市空間づくりを探索する。

⑥建築環境心理

建築の音・光・熱・空気等の環境と人間との関連性を理解し、人間の生理・心理を考慮した快適な環境・空間を計画する。

ディプロマ・ポリシー(DP)

キャリアデザイン能力(I)

建築関連分野における実社会の動向を理解し、大学院進学も含めて将来の進路を幅広く展望した上で、自らの進むべき方向を決定することができる。

建築エンジニアリングの基礎となる建築学全般の基礎的能力(J)

建築エンジニアリングの基礎として求められる、安全性にかかわる建築構造、快適さや健康にかかわる建築環境、使いやすさや美しさにかかわる建築計画、の三つの領域を主に学ぶことにより、建築に対する理解を深めることができる。

建築図面・文章等の基礎的表現能力(K)

建築計画・建築構造・建築環境などで学んだ、建築や地域に求められる基本的な内容を、図面や文章等を使って的確に表現することができる。

建築設計・計画に関わる基礎的能力(L)

使いやすく美しい建築を実現するために、建築空間の用途に応じた計画・構成・意匠を理解することができる。

都市デザイン・まちづくりに関わる基礎的能力(M)

都市や地域を形成する建築単体やその集合体としての建築群の役割や特性を、歴史的な変遷を含めて理解することができる。

建築生産に関わる能力(N)

建築構法および材料の特徴を理解することができ、安全で快適な建築空間を実現するために合理的な施工方法やそれに関わる各種法令について理解し、持続可能な建築の計画・設計を行うことができる。

建築・都市の環境・設備・GXに関わる能力(O)

快適で健康的な建築を実現するために、建築の内外に形成される環境と人間との関係性を理解することができる。建築・都市における環境問題への対応をGX(グリーントランスフォーメーション)として捉え、その考え方を理解することができる。さらに、建築環境・設備・GXの知識を活かし、快適な空間を計画することができる。

建築構造に関わる能力(P)

建築を支える構造の特徴を力学的観点から理解することができ、安全な建築を実現するために構造種別に対応した設計の考え方やそれらの方法を理解し、建築の構造計画・設計を行うことができる。

建築エンジニアリングのDXに関わる能力(Q)

建築エンジニアリング分野における活動特性を踏まえた情報技術のかたちや活用方法を理解することができる。また、目的に応じた建築情報環境を構築し、設計・分析・コミュニケーション・ものづくり等に活用できる。

分析・考察・提案能力(R)

建築の基礎から応用までの学習過程で得られた知識・技術を確認し、それらを用いて問題を発見し、解決することができる。

1 年 次

1 期 前学期

2 期 後学期

2 年 次

3 期 前学期

4 期 後学期

3 年 次

5 期 前学期

6 期 後学期

4 年 次

7 期 前学期

8 期 後学期

▶ 建築キャリアデザイン ①

□ 進路セミナーⅠ ①

□ 進路セミナーⅡ ①

▶ 建築の計画とデザイン ②

▶ 建築環境学Ⅰ ②

▶ 建築構造のしくみ ②

▶ 建築基礎製図 ②

□ 建築設計基礎 ②

▶ 建築設計演習Ⅰ ④

▶ 建築設計演習Ⅱ ④

□ 建築デザイン論 ②

▶ 建築計画 ②

□ 建築再生論 ②

▶ 西洋建築史 ②

□ 都市デザイン ②

□ 都市・まちづくり ②

▶ 建築構法計画 ②

▶ 建築材料 ②

▶ 建築施工 ②

▶ 建築法規 ②

▶ プロジェクトデザインⅢ ⑧

□ 建築設備総論 ②

▶ 建築環境学Ⅱ ②

▶ 建築設備学 ②

□ 建築環境学Ⅲ ②

□ サステナブル都市・建築 ②

□ 建築環境設計Ⅰ ②

□ 建築環境設計Ⅱ ②

▶ 建築構造力学Ⅱ ②

▶ 建築構造計画 ②

□ 鉄筋コンクリート構造 ②

□ 建築構造設計 ②

□ 鉄骨構造 ②

□ 建築安全工学 ②

▶ 建築エンジニアリング情報演習Ⅰ ②

□ 建築エンジニアリング情報演習Ⅱ ②

▶ 建築総合演習A ③

▶ 建築総合演習B ③

▶ イノベーション基礎①

▶ 専門ゼミ ①

▶ 必修科目 □ 選択必修(5科目を選択して必修とする) □ 選択科目 ○付数字は単位数を表す